

「自共対決」鮮明に、日本共産党議員団が力強く始動！ 安倍自公政権の悪政、暴走にストップ！！

**原発即時ゼロ、TPP反対、消費税増税反対、平和憲法擁護、住宅リフォーム助成継続、
市内循環型経済の確立、介護保険料や国保税の引き下げなど、国政・市政課題で訴え**



街頭で力強く訴える橋爪議員団長と上野幹事長

日本共産党上越市議員団は、新しい年を迎えて、力強く動き出しました。

元日には、それぞれの町内や各地域での新年賀詞交換会などに参加し、2日と3日は、市内各地を回り、街頭宣伝を行いました。

橋爪法一市議団長と上野公悦幹事長は、2日、頸城区から直江津八千浦地区、大潟区から柿崎区、吉川区から大島区を巡回し、浦川原区から再び頸城区を回りました。3日は午前中、直江津地区から谷浜・桑取地区を回り、イトーヨーカドー前で市民に訴え、午後からは旧東頸城地域から三和区などで訴えました。

丸々2日間の街頭宣伝行動でしたが、何とか天気に恵まれました。各所で大きく手を振ってくれる人、宣伝カーの声を聞き、外に出てきて待ってくださる人などが見られ、日本共産党に対する期待と信頼の大きさを感じました。

今年は4月から消費税が増税され、夏には柏崎刈羽原発の再稼働が企まれています。TPPも、国民には秘密に交渉が進み、秘密保護法を具体化したり、平和憲法をなし崩し的に改悪しようとするなど、安倍自公政権の悪政とその暴走は、一段と加速しています。

しかし、そのどれをとってみても国民世論とは全く相容れないものであり、ますます国民との矛盾が広がっています。また「税と社会保障の一体改革」で福祉の改悪がますます進み、市政でも市民に大きな負担を強いることになるでしょう。

このように、今年は安倍政権の暴走と国民のたたかいが激突する年となります。

日本共産党議員団は、すべての政治課題で対案を示して、安倍政権と正面から対決し、多くの国民のみなさんと共同をすすめ、日本の政治を変える本格的な流れを発展させるために全力を尽くします。

市民の声生かす56項目

**日本共産党議員団が
2014年度予算要望書を提出**

日本共産党上越市議員団ニュース

No. 392 2014年1月12日

連絡先

橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田)

日本共産党議員団は、12月27日、市長あての来年度予算要望書を提出しました。

要望したのは市民の命や暮らしに係わるものが中心です。重点・緊急要望を含めて、全体で56項目にのびります。

対応した土橋総務管理部長とは15分ほど懇談。その中で「灯油の値上がりによって低所得世帯などが困っている。ぜひ福祉灯油の実施を」「入札制度改革は市全体の問題。ぜひ積極的な対応をしていただきたい」と訴えました。



予算要望書を手渡す議員団 12月27日市役所にて

西山寺の水車の前で「頑張ろう」

